

# ●●東名古屋病院 たより

第103号

2026年4月発行

## 理念

私たちは、医の倫理を守り、患者さんの気持ちを尊重し、より質の高い医療を提供します。

## 基本方針

- ① 患者さんへの医療内容の説明と患者さんの同意を医療の基本とします。
- ② 地域に密着し、心の触れ合いを大切にした医療を提供します。
- ③ 常に自己研鑽に励み、医療人としての専門的知識・技術の習得に努め、皆様に信頼される安全で最新の医療を提供します。
- ④ 健全な経営を維持して療養環境の整備に努め、安心して快適に療養できる病院を目指します。



表紙の花「ヤマブキ」

## CONTENTS

巻頭言／患者さんを支える画像診断の役割

病気とのつきあい方／嚥下障害について

薬剤部からのお知らせ／ジェネリック医薬品について

トピックス／東名古屋病院学術講演会を開催しました



嚥下障害について



東名古屋病院学術講演会を開催



独立行政法人 国立病院機構  
**東名古屋病院**  
NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION  
HIGASHI NAGOYA NATIONAL HOSPITAL

〒465-8620

名古屋市名東区梅森坂5-101

TEL 052-801-1151 FAX 052-801-1160

ホームページ <https://higashinagoya.hosp.go.jp/>





## 患者さんを支える 画像診断の役割



放射線科 統括診療部放射線部長 櫻井 圭太

東名古屋病院では、神経難病、脳血管障害の診療やリハビリテーション、結核最終拠点病院としての役割をはじめとした専門性の高い医療を担う中で、画像診断は欠かすことのできない基盤の一つとなっています。画像診断というと難しく聞こえるかもしれませんが、身体の中で起きている変化を可視化し、より安全で確実な医療につなげるための大切な検査です。

神経難病の領域では、脳や脊髄のわずかな変化を捉えることが診断の第一歩となります。MRIは神経細胞の変化を詳細に描き出し、病気の進行度や治療の効果を評価するうえで大きな力を発揮します。たとえばパーキンソン症候群や多発性硬化症などでは、症状だけでは判断が難しい場面も多く、画像診断が患者さんの将来を見据えた治療方針の決定に役立っています。

リハビリテーションを行う際、画像診断は「回復の道筋を示す道しるべ」のような存在です。脳卒中後の麻痺や骨折後の機能回復を進める際、CTやMRIで損傷部位や治癒の状況を確認することで、患者さん一人ひとりに合わせたリハビリ計画を立てることができます。また、治療の途中で新たな変化が起きていないかを確認することは、安全にリハビリを続けるためにも重要です。

結核病棟では、胸部CTが治療の要となります。結核は肺の奥深くに病変をつくることもあり、胸部X線写真だけでは見逃されることもあります。CTは肺の断層像を描くことができるため、病変の広がりや治療による改善をより正確に把握でき、感染対策や治療期間の判断にも大きく貢献します。結核は今も決して過去の病気ではなく、確実な診断と治療が求められる疾患です。

これらの診療を支えるため、当院では高性能な3テスラMRI、マルチスライスCTをはじめとした最新の画像診断機器を導入し、より精度の高い医療を提供できる体制を整えています。画像診断は、患者さんの不安を減らし、治療の道筋を照らす大切な役割を担っています。これからも地域の皆さまに安心していただける医療を目指し、日々取り組んでまいります。



## えんげ 嚥下障害について

耳鼻咽喉科診療医長 伊藤 陽子



嚥下障害とは、食べ物や飲み物をうまく飲み込めなくなる状態のことです。飲み込む動きは口・のど・食道が協力して行っていますが、加齢や病気などの影響でこの動きが弱くなったり、うまく連携できなくなったりすると、嚥下障害が起こります。

### よくみられる症状

- 食事中にむせる・咳き込む
- 食べ物がのどにつかえる
- 食事に時間がかかる
- 声がガラガラする、痰がらみの声
- 何もしていない時でもむせる
- 食事量が減り、体重が減る



### 嚥下障害で注意が必要なこと

飲み込みがうまくできないと食べ物や飲み物が誤って気管に入ってしまう、「誤嚥」を起こすことがあります。誤嚥が続くと誤嚥性肺炎の原因になることがあるため、早めの対応が大切です。

### 原因となる主な病気

- 脳卒中(脳梗塞・脳出血)
- パーキンソン病などの神経の病気
- 加齢による変化
- 口やのどの病気、手術後
- 認知症

### 治療・対応について

嚥下障害の程度に合わせて、次のような対応を行います。

- 必要に応じた検査や治療
- 飲み込みやすい食事形態への調整
- 姿勢や食べ方の工夫
- 言語聴覚士による嚥下リハビリテーション



「飲み込みにくい」「最近むせやすい」と感じたら、早めに耳鼻いんこう科を受診しましょう。



### 当院耳鼻いんこう科では嚥下外来を行っています

内視鏡検査や造影検査で嚥下機能を調べます。必要に応じて嚥下訓練や口腔機能検査、口腔ケア、栄養指導など複数回外来を受診し、様々な角度から嚥下機能評価や対策について提案させていただきます。外来を何度も受診することが難しい方は、同様の内容を数日間の入院で行うことも可能です。

受診希望やご興味のある方は、耳鼻いんこう科または外来看護師にご相談ください。

## ジェネリック医薬品について

調剤主任 安藤 舞

ジェネリック医薬品、使っていますか？

「もちろん安いから使っているよ」「勧められたから使っている」「なんとなく効かない気がする」「絶対に嫌だ」いろいろな方がいらっしゃると思います。ここでジェネリック医薬品について知っていただき、お薬を選ぶ一助になれば幸いです。



ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは新薬（先発医薬品）と同じ有効成分を使ったお薬です。色々な試験を行い、品質や効き目、安全性が同等であることを確認して、国の基準・法律に基づいて製造されています。

一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬の値段が安くなっています。このため、ジェネリック医薬品を普及させることは、医療の質を保ち、患者さんの負担の軽減や医療費の効率化、医療保険制度の維持にもつながります。もともと飲んでいたお薬より安いから不安だと感じる方もいらっしゃいますが、法律にしたがって製造管理や品質管理が厳しくチェックされていますので安心して使ってください。また、アメリカやドイツ、イギリスなどでは日本に比べて先発医薬品からジェネリック医薬品への変更が進み、ジェネリック医薬品が広く普及しています。日本でもジェネリック医薬品の使用促進の結果、ジェネリック医薬品がある医薬品ではジェネリック医薬品の使用数量が約8割にまで広がっています。

さらに、ジェネリック医薬品は効き目が同じで安いだけではありません。先発医薬品が発売されてからジェネリック医薬品が発売される間の製造技術の進歩や製薬企業が製剤開発をすることにより、先発医薬品よりも飲みやすく、使いやすく進化しているお薬もあります。

例えば錠剤の大きさを小さくして飲みやすくしたり、錠剤を水薬やゼリーに変えたり、口の中で溶けるタイプのお薬（口腔内崩壊錠）に変更するなどの工夫があります。また、薬の含有量を増やして一度に飲む数を減らしたり、味やにおいを工夫したりして飲みやすくされているものもあります。飲み薬以外にも塗り薬の容器をスプレータイプやポンプタイプなどに変更することでより使いやすくなっているものもあります。



値段が安くなり医療費の効率化に役立つだけでなく、飲みやすさや使いやすさの工夫がされたジェネリック医薬品を使うことでより安全にお薬を続けていただけると思います。

どのくらい安くなるのか、どんな工夫がされたジェネリック医薬品があるのか、ぜひかかりつけ薬局で相談してみてください。

国の医療費を削減し、現行の医療制度を維持するためにもあなたの力が必要です。

あなたにとってより飲みやすい、使いやすいそして続けやすいお薬が見つかりますように。

お気軽に  
ご相談ください



## 東名古屋病院学術講演会(第23回医療連携症例検討会)を開催しました

経営企画室長 山田 隆史

令和8年2月7日、「星ヶ丘迎賓館アートグレイスクラブ」にて当院主催の学術講演会を開催しました。前回の開催は平成31年3月。その後は新型コロナウイルス感染症の流行による医療体制の逼迫と、感染対策上の制約により、やむを得ず開催を見合わせてきました。今回、約7年ぶりの開催となり、地域の医療機関の皆さまと情報を分かち合える大切な機会となりました。

テーマは、「**気管支拡張症診療の新時代：世界で注目が高まる重要疾患群**」と「**東名古屋病院における認知症治療 特に新薬について**」

どちらも高齢化が進む地域で身近になりつつある病気で、医療機関同士の連携が患者さんの安心につながります。

講演では、呼吸器内科の中川副院長からは、「気管支拡張症」について分かりやすい解説がありました。空気の通り道(気管支)が広がって弱くなること

で、長引く咳や痰、感染の繰り返しが起こりやすくなる病気です。気管支拡張症は非結核性抗酸菌症(肺NTM症)という病気との関連が強く、結核が順調に減っているのに対し肺NTM症は急増しています。診断には胸部CT検査が大切です。当院では地域の医療機関からのご紹介に応じ、必要な画像検査を迅速に実施できる体制を整えています。



また脳神経内科の村尾医師からは、アルツハイマー型認知症の進行をゆっくりにする可能性のある新薬や、安全に治療を進めるためのMRI検査体制について紹介がありました。当院では、地域の医療機関からの相談を受け、診察・検査・画像診断を組み合わせ判断し、患者さん・ご家族と一緒に治療方針を考える仕組みを整えています。



講演後の意見交換会では、地域の医療者が直接話すことにより、顔の見える連携が強化され、患者さんを支える地域医療の質向上につながる場となったのではないかと思います。

東名古屋病院は、これからも最新の知見の発信と検査・治療の受け入れ体制の強化を進め、地域医療に貢献してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



# 外来案内

診療受付時間／午前8時30分～午前11時まで(緊急の場合はこの限りではありません)

診療開始時間／午前9時～

休診日／土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)

初診時の特別料金／他の医療機関等からの紹介ではなく、直接当院に来院された患者さまは、初診にかかる費用として、2,200円(税込)をいただいております。ご了承ください。  
ただし、緊急その他やむを得ない事情により他の医療機関からの紹介によらず来院された場合にあってはこの限りではありません。

## 外来診察担当医表(令和8年4月1日現在)

診療科	月	火	水	木	金
呼吸器内科	初診 神谷 昂希	垂水 修	林 悠太	中川 拓	佐藤 美佳
	垂水 修	佐藤 美佳	角田 陽平	神谷 昂希	林 悠太
	中川 拓		中川 拓/小川 賢二 (第1・3週) (第2・4・5週)	小川 賢二	
循環器内科	服部 智貴		伊藤 亮太		
健康診断					武藤亜紀子
脳神経内科	初診 片山 泰司 (第1・3・5週) 富田 祐美 (第2・4週)	村尾 厚徳 (第1・3・5週) 奥田 聡 (第2・4週)	橋本 里奈	佐藤 実咲	栗田 泰斗 (第1・3・5週) 小森 祥太 (第2・4週)
	饗場 郁子	片山 泰司	富田 祐美	小森 祥太	村尾 厚徳
	栗田 泰斗	奥田 聡 (第1・3・5週(再診))	佐藤 実咲	橋本 里奈	
			饗場 郁子	奥田 聡	
消化器内科	小野 聡				
呼吸器外科		山田 勝雄			
外科・消化器外科				永田 博 (第2週)	渡邊 正範
乳腺外科		遠藤登喜子			遠藤登喜子/森田 孝子
乳腺・内分泌外科			今井 常夫 (第1・3週)		
整形外科	杉浦 喬也		船橋 洋人	杉浦 喬也	
脳神経外科					竹内 裕喜
泌尿器科	岡村 菊夫		青田 泰博 (第1・3週)		岡村 菊夫 (午前 通常診療・午後 女性外来※1)
精神科					金 徳洙
膠原病内科	鈴木 道太 (9:30～)				
内分泌内科					深見亜也子
小児科(予約制)	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子
皮膚科	加藤 愛	加藤 愛	加藤 愛		加藤 愛
耳鼻いんこう科	伊藤 陽子	伊藤 陽子	伊藤 陽子	伊藤 陽子	
嚙下・補聴器※2	伊藤 陽子 (嚙下 第2・4週)	伊藤 陽子 (補聴器 第1・3週)		伊藤 陽子 (補聴器 第1・3週)	

※1:女性泌尿器科外来/金曜(受付)12:00～13:30(診察)13:30～15:30

※2:完全予約制(嚙下)13:30～14:30(補聴器)14:00～15:30

●時間外・休日の救急診療については、お電話にてご相談ください。(052-801-1151)

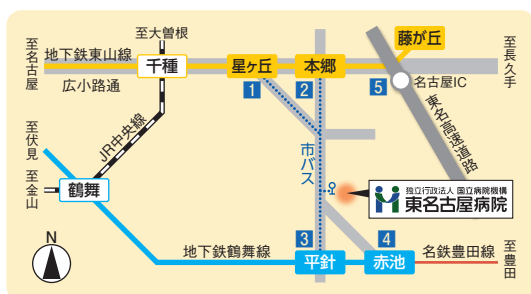
●セカンドオピニオン外来(予約制)を行っていますのでご利用ください。

●火・(水)・木曜午後に一般健診を行っています。(健診受付は14:00～15:00です。)

東名古屋病院  
病院紹介動画▶



## 病院へのアクセス



- 1 地下鉄東山線 星ヶ丘駅からお越しの場合
  - ・市バス③番のりば 東名古屋病院行きまたは梅森荘行き約15～25分…東名古屋病院にて下車
  - ・星ヶ丘よりタクシーにて約15分
- 2 地下鉄東山線 本郷駅からお越しの場合
  - ・市バス①番のりば 地下鉄平針駅行き20～30分…東名古屋病院にて下車
- 3 地下鉄鶴舞線 平針駅からお越しの場合
  - ・市バス①番のりば 本郷行き約10分…東名古屋病院にて下車
  - ・タクシーにて約8分
- 4 名鉄豊田線・地下鉄鶴舞線 赤池駅からお越しの場合
  - ・タクシーにて約8分
- 5 東名高速道路 名古屋ICより車で約20分